

実習日誌 (第 8 日)

平成 25 年 6 月 4 日 火曜日		天候 晴
	項 目	内 容
始業前	自職員朝拝、クラス朝拝	
第1時限	4/5の公開授業の打ち合わせ	プリントの内容の確認
第2時限	↑	↑ 模擬授業
第3時限	授業研究	指導書作製
第4時限	↓	↓
昼食時		
第5時限	↓ 授業研究	プリントの手直し
第6時限	高1-1 先生の授業見学	光合成の暗反応
第7時限	中2-3 実習生 授業見学	心臓・血液の循環
放課後	終え	

今日は7時限目に、同じく についている実習生の授業を見学させていただきました。発問をどんどんして生徒とのコミュニケーションを積極的にとりながらの授業であり、生徒もより主体的に授業に参加出来ていたと思います。また、「マッチョ」「筋肉番付」など生徒の心に響く言葉を用いたり、心臓の収縮をペットボトルをつぶすという比喩で表すなど、生徒がより分かりやすいように工夫されており、大変参考になりました。

月曜日から ●●さんと交代で朝拝・終えを担当していますが、生徒の一部がなかなか静かにならず、難しく感じています。生徒にどのように注意するのが適切なのか、生徒と関わりながら学んでいきたいと思っています。

指導教諭評
 授業やHR開始時の教師の一声はとっても大事です。生徒達はそれによって教師の授業やクラスに対する姿勢を即座に読み取ってしまいます。「最後はがんばるべし」といわず、「最初が肝心」です。「最初はがんばるべし」となるはず。7月1日中学時代のことも大切な時期と

指導教諭印